



# 三中だより

中野区立第三中学校

第8号

平成29年12月19日発行

## 12月の人権週間に思う

校長 齊藤 久

12月4日（月）から10日（日）まで人権週間でした。21世紀は人権の世紀と言われています。人類は20世紀には2度にわたり世界大戦を経験し、多くの尊い命を奪い、悲劇と破壊をもたらせた反省から、世界の人々の間に平和と人権尊重を求める動きが高まりました。昭和23年12月、国際連合は、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である」と世界人権宣言を採択しました。

東京都では2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け、15年ぶりに「東京都人権施策推進方針」を見直し、国際都市にふさわしい人権が保障された都市を目指して人権施策の推進に取り組んでいます。

学校における人権課題は大きく2つあります。1つは『いじめ』問題です。いじめは子供の教育を受ける権利を侵害し、その心身の健全な成長と人格形成に深刻な影響を与え、時には生命や身体に重大な危険を生じさせることもあり、決して許されるものではありません。三中では12月に、ふれあい（いじめ調査）アンケートを実施しました。アンケート結果によれば、緊急に対応する深刻ないじめ問題はありませんでしたが、今後もスクールカウンセラーや心の教室相談員を活用し、教育相談活動の充実に努めてまいります。

次の人権課題は教職員による生徒への『体罰』です。体罰は明治時代において、すでに法によって禁止事項になっていました。しかし、厳しい指導という名目で、近年まで学校の中で行われてきた悲しい現状があります。体罰は生徒に屈辱感を与え、心を深く傷つける人権侵害です。三中では、生徒の尊厳を大切にしながら、温かくも心に訴える厳しい指導を行い、いけないものはいけないと、良くない行動に対しては心に語りかけ、自己を見つめさせながら、生徒の成長を促しています。

最後の人権課題は三中の特色における課題です。現在、帰国生や外国籍生徒が48名在籍しています。全校生徒の約20%強にあたります。育ってきた環境の違いや文化、言語、肌の色など、互いの違いを認め合いながら共に学校生活を進めていくことが求められます。

10月「中野・ウエリントン友好子ども交流事業」があり、1週間という短い期間でしたが、ニュージーランドから5名の生徒が三中を訪問しました。日本食マナー教室、和楽器体験、書道体験、うちわ水墨画体験、和菓子づくり体験などを三中では企画し、おもてなしの心で交流しました。その時に活躍してくれたのは帰国生を中心とした英語部の生徒たちでした。帰国生は、育ってきた環境から、言語等の違いがあっても、お互いの文化や歴史、価値観を理解して、仲良くしようとする態度を備えている生徒が多く、日本の教育がめざすグローバル人材のお手本となっています。

アジアの国際情勢は戦争が勃発しかねない心配な状況になっています。悲惨な戦争を繰り返すようなことがなく、世界が平和になり、誰もが人として幸せに生きる権利が守られる世の中になることを祈ります。

## 保育実習

家庭科 野口 姫都美

技術・家庭科の家庭分野には、「家族・家庭と子どもの成長」という学習内容があり、幼児との触れ合いができるように留意することと示されています。本校は日頃からひがしなかの幼稚園とさまざまな交流を通して連携を深めていることから、「幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できるようになる」ことを目的に、家庭科の時間での体験学習を毎年引き受けていただいています。体験学習は2時間でしたが、あっという間に時間が過ぎてしまい、普段の学校生活だけでは見ることで見ることができませんでした。



幼稚園に向かう前から生徒はとても楽しみにしており、到着したときの生徒の様子からもそれが伝わってきました。体験の最初には、各学級で、園児と生徒が打ち解けるために、手遊びや歌を歌うなどの活動をしました。気恥ずかしい様子だった生徒たちも、この活動を通じて少し緊張がほぐれたようでした。また、園児の優しい笑顔と振る舞いに触れ、生徒もさらに優しい顔になり、積極的に触れ合っていました。

生徒からは、「楽しく実習を終えることができた。」「貴重な体験をすることができた。」「昔の自分を振り返ることができた。」「またぜひ触れ合う機会が欲しい。」などの感想が寄せられました。



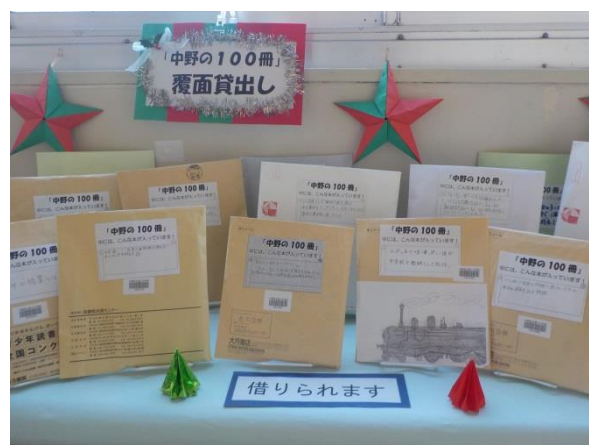
事後学習では、ひがしなかの幼稚園の子どもの育ちを支えるためのいろいろな工夫などについてまとめ、充実した体験学習となりました。

今回の体験学習をはじめ日頃からボランティア活動等でお世話になっているひがしなかの幼稚園の皆様にご挨拶いたします。ありがとうございました。

## 読書週間

読書推進担当 進藤 智成

11月27日（月）～12月1日（金）にかけて後期読書週間を実施し、『私の「おすすめの本」』と題して、今読んでいる本の見どころについての紹介文を作成しました。様々なジャンルの本の紹介文が集まり、教室前の廊下に掲示されています。「この本を読みたい。」「この先どんな展開になるんだろう。」「この作者、こんな話も書いているんだ」など、興味をそそられる記述がたくさんあります。本校では、本に親しみ、落ち着いて始業を迎えることができるようにと、毎朝10分間の「朝読書」を行っています。そのような日々の活動の中で、友達が何を読んでいるかお互いに気楽に見合うことで、新たな本に対する興味を広げ、三中全体の読書活動の活性化につなげられれば、と期待しています。そして、このような読書活動を通して、豊かな感性・表現力・創造力を育てていきたいと考えています。生徒たちの個性の詰まった紹介文。ご来校の際には、ぜひ、ご覧ください。



## 職場体験

第二学年 高橋 美保子

1月20日からの3日間、2年生対象の職場体験が実施されました。業務多忙の中、22の事業所が生徒を受け入れてくださいました。直前に流行性の病気のため受け入れが中止になった事業所もありましたが受け入れ先を変更し、無事終了することができました。

職場体験実施までには、マナー講座を受講し、電話のかけ方、事前訪問の仕方など一つ一つの場面でどのように行動するべきかを確認しました。日頃、SNS等で連絡を済ませることが多い生徒たちは、初めてお会いする事業所の方と正しい言葉で正しく連絡を取ることにとても緊張したようです。先に実施されたマナー講座で教えていただいた、あいさつ、身だしなみ、話し方等を「実践」として生かす良い機会となりました。

生徒たちは「思っていたより大変」「こんな細かいことまで考えているなんて知らなかった」「何年も毎日繰り返すなんてすごい」と今までと違う視点からの感想を持ったようです。

事業所の方からは「中学生時代に身につけておいた方が良く」「やりがいを感じる時」などのお話をいただき、生徒自身の進路を考える一つの糸口になりました。

1月29日（土）の学校公開ではこれらを事後学習としてまとめ、2・3校時で発表し、生徒同士の情報交換を行いました。

最後に、事業所の皆様をはじめ職場体験を支えてくださったすべての皆様に感謝申し上げます。



マルマンストア 中野店



JR中野駅



三中 用務業務委託会社



東中野図書館

## 中野区フラッグフットボール大会

山本 裕樹

12月2日、中野区フラッグフットボール大会が妙正寺川公園で行われました。三中も毎年参加している大会で、今年は1年生6人と2年生3人の9人で参加しました。生徒たちは小学校の授業で何回か経験があったので、初めての練習から意欲的に取り組んできました。中学校の部は小学校とは少し違うルールになりますが、校長先生の指導のもと、ルールを確認しながら練習をしてきました。

本番では練習の成果を十分に発揮し、2勝することがで



きました。生徒たちは、

自分たちで作戦を考えながら攻撃します。その際、戦況や相手の能力を考えつつ、練習の時に試した動き方を工夫しながら取り入れていました。また、練習最終日には校長先生より「フェアプレー」や「相手チーム、レフェリーへのリスペクトの精神」について話があり、生徒たちはその精神を大切にして最後まであきらめることなくしっかりと取り組んでいました。



## 食育授業

栄養教諭 二重作 友美

3年生家庭科において、調理実習をしました。3年生は後期、幼児とのふれあいを通し、幼児への理解を深めてきました。今回は、幼児の食生活の特徴をつかみ、実際におやつを作りました。作ったおやつは「ヨーグルトポムポム」です。このおやつは給食でも献立に取り入れたことのある、ヨーグルトとりんごを使った焼き菓子です。りんごの皮をむくのが難しい様子も見られましたが、どのグループも協力して上手に焼き上がりました。現代はいろいろなおやつが市販されていますが、幼児に手作りのおやつを作れるようになると素敵ですね。



平成29年12月11日（月）中野区役所において本校生徒が表彰されました！

税の作文 東京都納税貯蓄組合総連合会会長賞

3年A組 多田 光里さん

おめでとうございます。

## 教員退職のお知らせ

12月31日付けで2学年副担任家庭科、野口姫都美が退職することになりましたので、お知らせいたします。後期後半、1月9日より非常勤講師成田美穂が授業を行います。